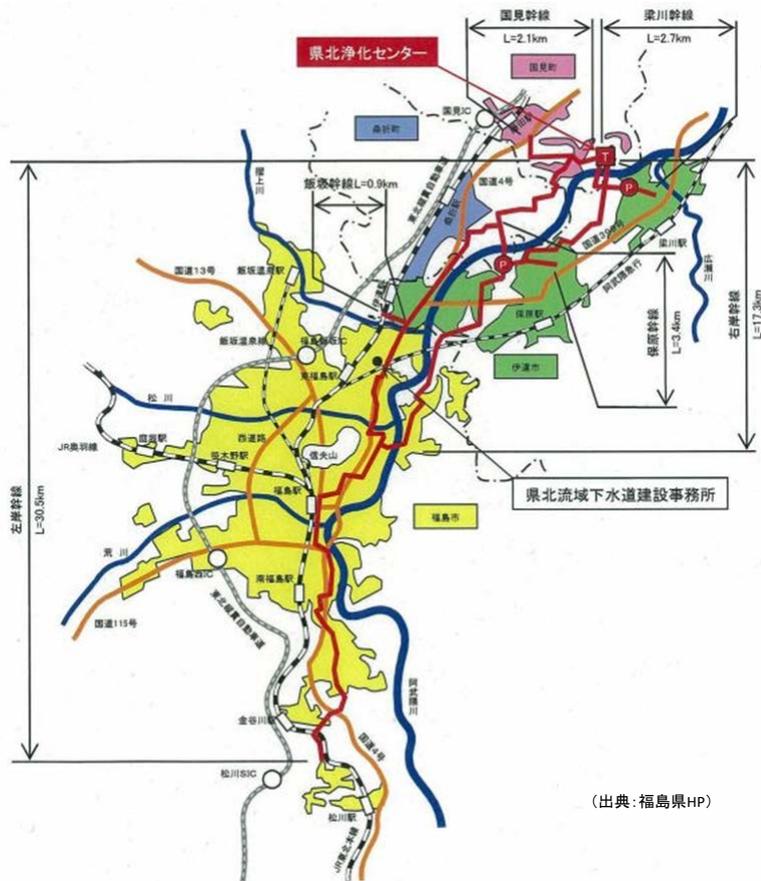


台風19号による記録的な大雨により、福島県内においても処理場2箇所、ポンプ場9箇所において浸水のため機能停止。10月23～24日 処理場・ポンプ場施設の応急対応状況の把握と応急対応に関する技術的なアドバイスを目的として、国総研による現地調査を実施

阿武隈川流域下水道県北浄化センター
 現有処理能力 87,800m³/日
 水処理方式 標準活性汚泥法
 排除方式 分流式



(出典:福島県下水道公社HP)



(出典:福島県HP)

- ①派遣者 (TEC-FORCE高度技術指導班)
 下水処理研究室 山本研究官 松橋研究官
 (本省下水道部、日本下水道協会、日本下水道事業団が同行)
- ②期間
 令和元年10月23日(水)～24日(木)
- ③派遣目的
 通常運転に戻っていない処理場・ポンプ施設の応急対応状況の把握と応急対応に関する技術的なアドバイス
- ④行程
 23日 福島県庁にて被害の全容に関する打ち合わせ
 【現地調査】 阿武隈川上流流域県北浄化センター
 24日 【現地調査】 福島県本宮市、郡山市、いわき市各ポンプ場、郡山市真空式下水道
- ⑤状況
 【阿武隈川上流流域下水道県北浄化センター】
 - ・場内水路を活用した消毒による緊急放流実施中。
 - ・最初沈殿池を活用した沈殿+消毒を27日より開始予定。
 - ・段階的な水質向上方策を検討中
 - ・下水処理場内の処理の困難な腐敗汚泥について濃縮、脱水方法について助言
 【郡山市 真空式下水道】
 - ・32世帯下水道使用不能、各戸のマスからバキューム車でくみ取りを実施
 - ・既存機器の点検中であるが使用不能の場合は側溝を活用した仮設配管による対策を助言
 【福島県下各市ポンプ場】
 - ・浸水により停止した施設を調査し、応急対応による排水能力や溢水の有無など周辺状況等を確認

台風19号による記録的な大雨により、福島県内においても処理場2箇所、ポンプ場9箇所において浸水のため機能停止。10月23～24日 処理場・ポンプ場施設の応急対応状況の把握と応急対応に関する技術的なアドバイスを目的として、国総研による現地調査を実施



阿武隈川流域下水道県北浄化センター 水没時状況
(出典:国土地理院HP)



阿武隈川流域下水道県北浄化センター 調査状況



復旧方針の技術相談状況(本宮市)



汚水ポンプ場被害状況確認(本宮市)